

集める・伝える・活かす

災害メモリアルアクションKOBÉ

# ACTION 2016

テーマ：

## 神戸のコトバ

参加無料

### 活動報告会

日時 **2016.1.9 [SAT]**  
**10:00 → 12:30**

会場 阪神・淡路大震災記念  
**人と防災未来センター**

これまで、「阪神・淡路大震災」を経験した世代が教訓と提言をまとめた「メモリアルコンファレンス・イン神戸（1996～2005年）」、そして、その教訓を次世代に伝えるために「災害メモリアルKOBÉ（2006～2015年）」を実施してきました。

そして、2015年度からこの先の10年を見据え、「災害メモリアルアクションKOBÉ」という取組みを開始しました。

参加学生の防災・減災活動を通じて、災害教訓を「活かす」ことができる人材を育成するとともに、防災の取組みをいろいろな地域・世代へ広げていく事例をまとめ、今後の被害を減らすことに寄与することを目指します。

主催：人と防災未来センター、京都大学防災研究所自然災害研究協議会  
企画：災害メモリアルアクションKOBÉ企画委員会  
後援：兵庫県教育委員会/神戸市/神戸市教育委員会/朝日新聞社/読売新聞神戸総局/毎日新聞神戸支局/産経新聞神戸総局/神戸新聞社/NHK神戸放送局/ラジオ関西/神戸学院大学/明石工業高等専門学校/関西大学社会安全学部

### プログラム

司会：松蔭高等学校 放送部

- 10:00** **開会・挨拶**  
災害メモリアルアクションKOBÉ 企画委員会委員長  
人と防災未来センター震災資料研究主幹  
京都大学防災研究所教授 牧 紀男
- 10:10** **活動発表**  
発表：兵庫県立舞子高校  
国立明石工業高等専門学校 防災団  
兵庫若者防災ネットワーク  
神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 舩木ゼミ  
関西大学 社会安全学部 近藤研究室
- 11:25** **スペシャルプレゼンテーション  
TVドキュメント「未」**  
NHK杯全国高校放送コンテスト出品作品  
制作：松蔭高等学校放送部
- 11:35** **パネルディスカッション  
「神戸のコトバ」**  
この活動に参加した動機や、10年後に向けて「神戸のコトバ」を伝えるため、どのように行動すべきか意見交換します  
コーディネーター：人と防災未来センター研究員 石原 凌河  
登壇者：各グループ参加学生代表者  
前災害メモリアルKOBÉ実行委員会幹事長  
京都大学防災研究所教授 矢守 克也
- 12:25** **閉会・挨拶（講評）**  
災害メモリアルアクションKOBÉ 企画委員会顧問  
人と防災未来センター長 河田 恵昭
- ※敬称略



災害メモリアルアクションKOBÉ

# ACTION 2016

## 兵庫県立舞子高校



私たちは、阪神・淡路大震災についてもっと知りたいと思い集まったチームです。次の災害でその人にとって最良の判断ができるように、またその選択肢を増やすために神戸のコトバを伝えようと活動しています。最良の判断とは、災害で死なないことではなく後にその人が後悔をしないことだと考えました。津波の被害が今、注目されていますが津波がくる前に地震が来ます。その地震を中心に考え、阪神・淡路大震災が起こった瞬間の判断、行動を次の世代に伝えたいと思います。

## 兵庫若者防災ネットワーク



### 新長田のステキ“再発見”

阪神・淡路大震災から21年を経た新長田。新長田にゆかりのない若者が訪れ、目にした新長田はとても魅力的なまちへと復興していました。そこに住む人にとって「あたりまえ」であるから気づかない、新長田の魅力。私たちはその“再発見”を試みます。地域をよく知る年長者や、まちおこしに励む若者らの「コトバ」を集めるとともに、そこを見て・聞いて・感じた、私たちの「コトバ」も記録します。活動を通じて見えてくる新たな新長田をお伝えします。

## 関西大学 社会安全学部 近藤研究室



### 「ぼうさいマイCREDO」カレンダーの制作

防災の分野は、「あぶない」、「足りない」、「難しい」といった、後ろ向きなことばのオンパレードです。これではちょっと息苦しい。そこで、関西大学近藤ゼミでは、神戸市長田区真陽地区に通い詰めて、ポジティブなことば、「ぼうさいマイCREDO」（クレドは、ラテン語で約束という意味）を集めました。そして、希望を紡ぐことばに満ちたカレンダーに仕上げました。1年を通して地域の思いを支えています。

今年のテーマ：

## 神戸のコトバ

初年度となる今年度は、「神戸のコトバ」をテーマに、グループ単位で参加を希望した学生が阪神・淡路大震災で被災した地域などに入り、インタビュー、アンケート、交流事業などを企画・活動しました。今後の防災に「活かす」事例として、報告するとともに、今後の活動について考えます。

## 国立明石工業高等専門学校 防災団



D-PRO135°(明石高専防災団)は、明石高専で防災士を取得した学生による防災活動組織です。今回は、防災ゲームの製作を行いました。ゲームを通して、プレイヤーに楽しみながら防災意識を高めてもらうことを目指します。製作にあたり、既存ゲームの調査、被災経験者のヒアリング、情報収集を行ってきました。毎回違うパターンで遊べるよう、4枚のボードの組合せ、時間帯や役割といった条件を設定し、ゴール(避難所)を目指す、チーム制のボードゲームです。ぜひ、ゲームに挑戦してみてください!

## 神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 船木ゼミ



神戸市立明親小学校の長谷川元気先生(震災当時小2、母親と弟を亡くす。)の震災経験を基に紙芝居を作成。長谷川先生に聞き取り調査を数回行い、聞いた内容を何度も振り返り、話し合い、記憶にない部分は想像で補いました。その紙芝居を使って、塩屋北小学校3年生に向けてワークショップを実施。話の途中で「元気くんの気持ち」などを考える授業内容として、子どもたちにできるだけ元気くんの立場になって考えてもらう工夫をしたストーリーを構成しました。

主催：人と防災未来センター、京都大学防災研究所自然災害研究協議会  
企画：災害メモリアルアクションKOBÉ企画委員会

お問い合わせ：

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター事業部普及課  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5-2 西館6階  
Tel：078-262-5060  
Fax：078-262-5082  
Email：hitobou-fukyuuka@dri.ne.jp  
HP：http://www.dri.ne.jp/memorial\_action\_kobe